

# 企業事例集

- 1 食料品製造業 P. 1
- 2 食料品卸売業 P. 22
- 3 食料品小売業 P. 29
- 4 外食産業 P. 38

### 取組みのカテゴリ

労働安全教育

はさまれ・巻き込まれ対策

転倒対策

表彰制度

### 企業情報

所在地：千葉県

従業員：390名

### 背景

- 労働災害が頻発し、労働基準監督署より指導を受けたこと
- 指導をきっかけに外部機関での教育を受講し、社内の労働安全管理体制強化の必要性を痛感したこと

### 取組内容

#### 1. 【従業員の安全意識向上のための教育】

- 受講率100%達成を目標に安全教育を推進しています。
- まず、指導者の教え方にバラツキが出ないよう、教育内容の標準化を進めました。それを基に毎月1回、職場ごとに安全教育を実施しています。労働災害実績やヒヤリハットで講じた対策の都度、内容に反映しています。
- 結果的に指導者は教えやすく、受講者は分かりやすくなりました。こうした取組みの継続で受講者だけでなく、教える側も再度学ぶことができ、安全の意識が身に付きました。受講率は、当初の85%から95%まで向上しています。

#### 安全教育記録表（製品課）

業務内容：作業②（製造機組）  
受講日：\_\_\_\_\_  
受講者：\_\_\_\_\_  
教育者：\_\_\_\_\_

作成日：2020/04/01  
改定日：2020/10/01

作業に関する事項	
■ 高速スライサー	
①原料肉投入口のコンベアの巻き込みに注意する	
②刃の周辺を清掃する際は必ずヘルメットを使用する	
■ カップステール	
①階段の昇降の際は手摺りを握むこと	
②スライサーのお肉を移動する際、腰を捻らないように注意する	
③緊急停止ボタンの位置確認	
■ フレーカー	
①投入口のよから手を入れない	
②お肉排出口から手を入れない	
③緊急停止ボタンの位置確認	

#### 2. 【非定常作業削減のための設備管理基準】

- 労働災害につながりやすい機械の修理や調整作業を減らすために、機械ごとに管理基準を作成しています。
- 当社の機械・設備にはすべて「近接スイッチ」が付いていますが、非常停止ボタンの作動確認も管理基準に含まれており、必ず点検しています。
- 機械点検は、教育も兼ねて指導者と作業者がペアで実施しています。手順や方法だけでなく、機械の特性などを確実に若手に伝達しています。

機械名	点検項目	点検日	点検者	確認
【高速スライサー】	原料肉投入口のコンベア			<input type="checkbox"/>
	刃の周辺			<input type="checkbox"/>
	緊急停止ボタン			<input type="checkbox"/>
	近接スイッチ			<input type="checkbox"/>
【カップステール】	階段の手摺り			<input type="checkbox"/>
	スライサーのお肉移動			<input type="checkbox"/>
	緊急停止ボタン			<input type="checkbox"/>
	近接スイッチ			<input type="checkbox"/>
【フレーカー】	投入口のよから手			<input type="checkbox"/>
	お肉排出口			<input type="checkbox"/>
	緊急停止ボタン			<input type="checkbox"/>
	近接スイッチ			<input type="checkbox"/>

#### 3. 【滑りにくい床やグレーチングの採用】

- ヒヤリハット活動で職場内の危険を従業員に挙げてもらい、対策を順次実施しています。
- 転倒は段差表示、防滑靴の支給、滑りにくいグレーチングや床材の変更、改修などの対策を行いました。防滑靴は時々、靴底がすり減っていないか確認しています。
- また、筋力向上の自己啓発のため参考書籍の貸出を行っています。



4. 【非常停止ボタンの移設、インターロッキング】

- リスクアセスメントではさまれ・巻き込まれ災害にリスクの高い危険源を抽出しました。
- 作業中に巻き込まれやすいポイントから非常停止ボタンに手が届かない場合は、ボタンの位置を移設しました。
- 巻き込まれる恐れがある機械には、センサーなど手や体を出すと自動停止する仕組みになっています。



5. 【表彰制度】

- 毎年8月に、安全スローガンの募集をしています。スローガンに選出されたら、自社商品のお肉1kgを進呈していて、たくさん提出してもらえるようになりました。
- スローガンと併せてヒヤリハットも提出してもらおうようにしたことで、多くの職場のリスクを集めることもでき、安全について従業員が考えるいい機会になっています。



安全の成果

- 教育による安全意識の向上と、客観的な評価による安全の取組みに対するモチベーション向上で、労働安全活動が活発化し、労働災害は減ってきている。

副次的効果

- 工場見学した生協職員や生協組合員から労働安全の取組みを評価され、従業員のモチベーションが上がった。
- 生協職員は、工場の取組みを営業活動でPRし、継続的に売上が増えている。
- 工場見学した組合員がSNSなどでPRした結果、企業イメージが向上している。
- 職場環境や社内風土が良くなり、離職する人が減っている。
- 設備管理の取組みで、設備故障件数が減り、生産性や歩留が向上した。

取材年月：2020年10月

\* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。

## 取組みのカテゴリ

転倒防止対策

腰痛防止対策

## 企業情報

所在地：東京都  
従業員：140名

## 背景

女性が重量物を持ち上げたり運んだりすることに違和感を覚え、労働災害防止を含めてより良い職場に改善する活動を始めました。

より良い職場にするために、従業員全員にアンケートを行い、仕事の改善希望をヒアリングしたところ、重量物の扱いや業務負荷についての意見が多かったことから、腰痛防止対策を始めました。

## 取組内容

## 1. 【腰痛を防止するための作業改善】

- まずスライスした食肉を入れるコンテナに積む量を制限することで、1つあたりのコンテナの重量を軽減させました。
- 次に昇降台車を導入し、コンテナの積み下ろし作業の負担を軽減させました。



## 2. 【労働安全のための5S活動の実施】

- 床についた食肉の脂をきれいに清掃することを実施しました
- 昼休みに入る前の10分間を5Sタイムとして、全員で床を清掃しています
- 活動を始めた当初は、作業を優先する従業員が多く、全員参加になりませんでした。そこで5Sタイムを知らせるためのブザーを導入し、5Sタイムの間、音楽を流し、清掃に充てる時間であることを周知した結果、全員参加が加速度的に進み、スムーズに実施できるようになりました



## 安全の成果

- 腰痛になる社員・アルバイトはいなくなりました。また作業負担によるポジションチェンジを希望する従業員もいなくなりました。
- 5S活動を実施して約5年になりますが、転倒災害はゼロになりました。

## 副次的効果

- 作業環境が改善され、重量物の扱い方や業務負荷が軽減されたことにより、1～2年で離職する人はここ数年で激減しました。また女性も働きやすい環境になったことで女性の定着率も上がりました。

取材年月：2020年11月

\* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。

### 取組みのカテゴリ

転倒対策

はさまれ・巻き込まれ対策対策

火傷対策

### 企業情報

所在地：三重県

職員：4名、利用者(障害をもたれた方)

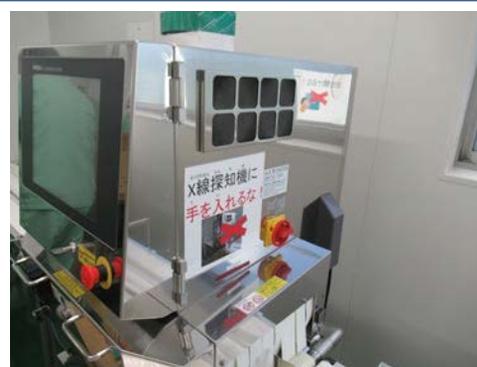
### 背景

- 安定的に事業を継続することで知的障害者に就労の場を提供し、地域貢献するため
- 所在地の労働安全協会の会合に参加し、異業種の安全の取組みを聞いて

### 取組内容

#### 1. 【危険個所から退避するための声かけと表示】

- 4工程ある生産工程にそれぞれ職員が分かれ、危険個所から退避する声かけを利用者に実施しています。また、視覚的にも危険個所が分かるように、注意喚起の表示や床の色で識別しています。
- 水濡れして滑りやすい箇所は、滑りにくい床材を施工しました。



### 安全の成果

2018年7月の開設以来、労働災害は0件です。

### 副次的効果

- 利用者の安全作業の環境が整備されたことで定着率が向上した。
- 職場の安全作業の環境が整備されたことで、利用者のご家族に安心感を与えている。

取材年月：2020年11月

\* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。

## 取組みのカテゴリ

労災情報の共有

安全パトロール

## 企業情報

所在地：東京都  
従業員：3,482名

## 背景

乳製品製造会社として、労働安全が最優先であるとの考えのもと、全社的に取組を実施してきた歴史があります。近年はさらにブラッシュアップをかけて先進的なシステムの構築に取り組んでいます。

## 取組内容

### 1. 【類似災害を防止するための労災速報の共有】

- 類似災害を防止するため、社内の文書管理システムに労働災害の項目を追加し、労災発生から原因追及、対策の実施までを一元管理しました。不安全な状態、不安全な行動は何だったのか？を報告書に明記すること、4Mの切り口でも分析を実施して、徹底的に原因追及をしています。システム上には、労災の型別に注意点をまとめたリンクが貼っており、現場管理者はこれを見て、従業員に教育を実施ができます。



### 2. 【従業員の安全意識向上に繋がる安全パトロール】

- 安全の鐘活動という名目で、工場内の作業員とコミュニケーション強化を図りながら安全パトロールを実施しています。実際に鐘を鳴らすことにより、安全意識が高まる効果があり、労働災害の防止に繋がっています。



## 安全の成果

- 前期と比較して、今期は労災事故が約4割減少傾向にあります。特に同じ型の労災事故に関しては、減少傾向にあります。

## 副次的効果

- ESGデータ集に労働災害の度数率と強度率を載せ、労働安全対策への取組状況を公表していることで、社会的信用に繋がっていると考えています。

取材年月：2020年10月

\* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。

## 取組みのカテゴリ

安全パトロール

労働安全教育の工夫

はさまれ・巻き込まれ対策

腰痛対策

墜落・転落対策

## 企業情報

所在地：神奈川県

従業員：148名

## 背景

- 実際に労働災害が発生したため
- 労働安全活動が形骸化しており、取組みにも熱が入っていなかったため

## 取組内容

## 1. 【トップマネジメントによる安全パトロール】

- 当社神奈川総合工場における安全パトロールに本社から社長に参加していただいています。
- パトロールでは、客観的かつ厳格に指摘頂き、迅速な対策検討とフォローアップを行っています。
- トップの率先垂範の活動で、安全最優先の意識付けができましたし、パトロール自体が緊張感のあるものになりました。また、費用の掛かるリスク対策の判断も早くなりました。



## 2. 【安全意識向上のための労働安全教育】

- 企業としての安全の考えと従業員の安全意識向上のため、安全教育に力を入れています。新入社員に対する安全の教育は、入社2日目から開始し、入社月に安全パトロールに参加させ、危険個所を発表させ、発表した個所は、会社として具体的に対策を講じています。
- 年1回、半日ラインを止めて全従業員への安全教育を実施しています。
- 外部講習を受けた後、自分の職場にどう展開するかを課題にして発表させています。
- 遊休設備を使って、巻き込まれの体感教育を行い、機械に安易に手を出させない意識を身に付けさせています。



## 3. 【本質安全化のための工学的対策の推進】

- 設備管理担当を製造部署へ異動させ、設備の保全や改造などを製造部員にOJTで教育してもらっています。製造部員のスキルが向上し、非常停止ボタンの移設やインターロック機能が低コストで迅速に行えるようになりました。設備保全の意識が向上し、労働災害につながりやすい故障復旧などの非常作業を減らすことができました。
- はさまれ・巻き込まれ対策として、不安全な状態・作業の注意喚起の表示には限界があり、工学的対策に繋げて欲しいという思いから、「見えないゴリラ」という映像を使った教育を実施し、理解が進みました。



- 見えないゴリラ  
あるものに集中していたら容易に見えているものに気付かないというもの

## 4. 【マット、作業台、作業方法の改善】

- 立作業の工程が多く、女性や高齢労働者も多いので楽な姿勢で作業できるよう作業台や疲労軽減マットを導入しました。
- 対象となる工程を抽出し、準備、設置を順次実施しましたが、マットは段差が転倒災害の要因となったため、高さ調整の工夫を行いました。腰痛対策はもちろん、疲労によるふらつきを予防し、転倒対策にもなりました。
- 廃棄物を入れる袋は重量があり、腰痛の原因になり得るため、重量制限の表示を行い、注意喚起を促しました。さらに、改善を進め、袋のサイズを規定重量の容量のものに変更しました。取扱い回数は増えますが、腰痛の原因となる作業を無くしました。
- 若手従業員が実施していた出荷作業をベテラン従業員が実施することになったので、カゴ車に積むフレコンバックの上限を5袋減らし、積み込み時の持ち上げる動作を無くし、腰痛や転落のリスクを低減しました。



## 5. 【印字機の変更】

- 印字機で使用しているインクを有機溶剤を使用しないインクに変更し、リスクを軽減しました。

## 6. 【危険個所の注意喚起表示】

- 高所作業時は、保護具の着用を徹底させるため、赤く表示して遵守意識の喚起と見落としを無くす工夫をしています。



## 安全の成果

- 様々な労働安全の取組みにより、不慮災害を含めて連続無災害700日を継続しています
- 非定常作業（設備の故障復旧や調整作業など）の削減
- ヒヤリハット件数の増加、従業員からの労働安全に関する教育ニーズの増加

取材年月：2020年11月

\* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。

「H・M O作戦」により挟まれ・巻き込まれ事故撲滅へ

取組みのカテゴリ

挟まれ・巻き込まれ防止対策

転倒防止対策

KYT

企業情報

所在地：栃木県  
従業員：154名

背景

2018年に、挟まれ・巻き込まれ事故ゼロを目指す運動（工場内では、挟まれ(Hasamare)・巻き込まれ(Makikomare)をゼロ(0)にする作戦の頭文字をとり「H・M O作戦」とネーミング）を全社的にスタートさせて、さらに労働安全取組を強化しました。

取組内容

1. 【挟まれ・巻き込まれ事故防止のためのカバー設置】

- まずはモデルラインを選定し、リスク箇所のリストアップをします。その後対策の実施・運用し、他のラインに水平展開しました。安全性とスピード感を重視して作戦を実行しました。



2. 【安全意識向上のためのKYTの実施】

- KYTの実施頻度を月1回から週1回に変更し、活動を強化しています。KYTの内容がマンネリ化しないために、各自その週のヒヤリハット事例を必ず1事例以上持ち寄り、内容が充実するように工夫しています。



3. 【増加傾向にある転倒を防止するための対策】

- まずは、転倒リスクのある箇所のリストアップをします。その後、床面の段差対策を実施して、歩行帯も明確にしました。特に転倒のリスクが高い高齢者には朝礼等で注意喚起も併せて行っています。



## 安全の成果

- 2018年に「H・M0作戦」を開始してから、労働災害ゼロを継続できています。

## 副次的効果

- 挟まれ・巻き込まれ対策でカバーを実施したところ、異物混入のリクスも無くなり、食の安全にも繋がっています。

取材年月：2020年11月

\* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。

## 取組みのカテゴリ

安全パトロール

労働安全教育の工夫

はさまれ・巻き込まれ対策

腰痛対策

墜落・転落対策

## 企業情報

所在地：埼玉県

従業員：230名

## 背景

- 「人を大事にする」社風から、製造業として労働安全は当然という考えがあるため
- 多品種少量化の製品戦略から労働集約的なモノづくりで、労働安全の取組みは必然的であるため

## 取組内容

### 1. 【危険源抽出のためのヒヤリハット活動】

- 記入用紙と投書箱を準備し、ヒヤリハットしたことを全従業員に投書してもらいます。この他、E S 調査でも現場の意見を抽出しています。集めた情報は、安全衛生委員会で優先順位を決めて、極力対応するようにしています。書きやすさ、提出しやすさを向上させるため、やり方を毎年見直しています。



### 2. 【目的別委員会の設置】

- 社内にテーマ別に13の委員会を設置し、そのうちの一つに安全衛生委員会があります。委員会は、幅広い階層から選出され運営しています。委員会は、各年、全従業員の約半数が所属するため、委員会の役割認識は自然と高くなり、委員ではない従業員も活動に積極的、協力的な風土になりました。

### 3. 【安全カバー、非常停止装置】

- ヒヤリハットなどから抽出された危険箇所は順次、対策を行っています。元の米菓設備は、労働安全の危険箇所が多かったことや、工場が狭く、コンベアのレイアウト改善の必要性もあったため、工務担当者の育成を進めました。結果的にメーカーの制約を受けずスピーディー対応できました。特に回転部や駆動部の安全カバーの取付や非常時の停止ボタンの設置を進めています。



#### 4. 【作業を楽にする作業台、ジャッキ台車の改善で腰痛対策】

- 当社には、一人一研究という活動があり、従業員が年間1件、アイデア出しから、治具の確認、実運用まで行い、成果発表しています。
- 一人一研究で、労働安全に関連した改善も進んでいます。左の写真は、作業台の高さを調整できるように改善した事例です。右の写真は、重量物をジャッキで昇降できるように改善した事例です。この改善で、作業が楽になり、腰痛対策に繋がりました。
- どちらの改善も女性のパートナー社員が取り組んだ成果で、製作は、工務担当が会社にあるもので作ってくれたので、低コストで実現できました。



### 副次的効果

- 安全の取組みだけではないが、マスコミなどで紹介され知名度が向上しました
- 労働安全の取組みも含め、働きやすい会社という噂が近所に広がり、従業員募集の応募が増えた

取材年月：2020年11月

\* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。